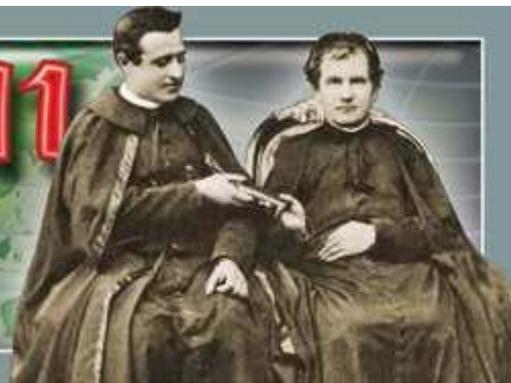


CAGLIERO 11

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.89 - 2016年5月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



兄

弟の皆さん、友人の皆さん、

ストレンナ2016の光に導かれ、イエスと一緒に、聖霊のうちに、この宣教の旅を私たちは続けます。そのために、総長は今年、**苦しむ人々との連帯**、他者に仕えるために自分を空しくすること、いのちを賜物として受け入れること、また私たちをより良いものとし、自己中心から解放し、人生に意味を与える奉仕として受け入れることを、生活のあらゆる分野で大切に、促進するよう自らを教育し、若者たちも教育するようにと招いています。「こういった心のスキルを提示し、実践しなければなりません」とアンヘル神父は言っています。宣教師の召命の根本には、しばしば苦しむ人々の近くにいたいという強い望みがあります。例えば、福者ルイジ・ヴァリアラのとても特別な召し出しが思い起こされます。アグア・デ・ディオス（コロンビア）のハンセン病の人々に仕えるよう呼ばれ、ドン・ボスコのカリスマから修道会を創立したこのサレジオ会宣教師の召命は、苦しむ人々との連帯がすべてにおいて中心にありました。

友人の皆さん、聖霊の冒険を続けましょう！

J. Basañes

宣教師顧問
ギジェルモ・バサニェス神父



小教区：いつも宣教の前線として

ド

ン・ボスコは生涯に7つの小教区を引き受けましたが、小教区に属さない、貧しく見捨てられた少年たちの主任司祭として常に理解されていました。実際、ヴァルドッコのオラトリオは「福音宣教する小教区」でした。小教区の使徒職がわりあい最近までサレジオ会の典型的な使徒職と見なされていなかったことは、驚くに値しません。「若者の共同体への模範的な司牧的世話」（第19回総会文書、IX, 3）を行う場として小教区を認識したのは、第19回総会でした。そして1971年に特別総会は、小教区の司牧奉仕を「真正なサレジオの使徒職」と認めました。なぜなら、小教区は、「より貧しい層の若者の教育という私たちの固有の使命を実現するための可能性と有利な条件」（第20回総会文書、400-401）を与えてくれるからです。端的に言えば、若者と庶民層に奉仕する可能性によって小教区を引き受けることが正当とされ、このことは会憲第42条、そして会則第26条に明文化されました。この観点から、小教区は青少年司牧の下に位置づけられ、『サレジオ青少年司牧の枠組み』は、オラトリオ-ユースセンター、学校・職業訓練校・高等教育、危険にさらされた若者のための福祉事業と共に、「サレジオ会にゆだねられた小教区、聖堂」を「サレジオ青少年司牧の活動と事業」（第7章）の中に位置づけています。

しかし、今日のグローバル化した世界では、状況が劇的に変化しています。都会であろうと、農村であろうと、あるいは密林の中であろうと、小教区は「渴いている者が歩き続けるために水を飲みに来る聖域であり、たえず宣教的働きかけを行う拠点」（『福音の喜び』28）です。小教区では、教会を離れてしまっているカトリック信者だけでなく、あらゆる年齢層の難民、移民、他の宗教の信者、無神論者に出会います：会憲第30条の言う「福音化されていない国民」です。（訳注：小教区＝教会だけでなくその管轄地域）

したがって、どの小教区の管轄地域にも、信仰を熱心に生きる信者だけでなく、すでにイエスを知っていると思い、習慣的あるいは文化的なものとして信仰生活を送ることで満足している多くの人もいます。また、初めて福音を告げられたその宣教が不十分な貧しいものであったため、キリスト者としてのアイデンティティーが弱くもろいまま、結局、イエス・キリストへの信仰を棄ててしまったり、あるいはただ文化的なものとして生き、共同体と共に礼拝することも、秘跡にあずかることも、小教区の生活や活動に参加することもなかったりする人たちもいます。同様に、キリストについて聞いたことのない人、何かを感じて誰かを、何かを探し求めながらその名を見いだせない人、また、何も感じないまま日々の生活を送る人もいます。

実に、今日すべての小教区はますます本当の意味で宣教の前線になっており、そこでは通常の司牧的な働きと活動、すべての人への宣教 *missio ad gentes*、新福音宣教が、緊急に必要になっています。すでに1990年に、聖ヨハネ・パウロ二世が『救い主の使命』32-33で指摘したように！

サレジオ会の小教区がより宣教的なものとなるように、本当に出かけて行くものとなるように、見直しをする必要があります！このような真に宣教的な状況にあって、すべてのサレジオ会小教区が司牧における無関心に至らせる通常の維持的な司牧活動を乗り越え、むしろ司牧的回心の鍵として、福音をまだ聞いたことのない人々に告知させる第一次福音宣教の重要性と意義を再発見することが緊急に必要です。第一次福音宣教は宣教の熱意を育み、福音を告げる喜びをもたらします（『福音の喜び』79, 82-83）。

宣教部門

アルフレッド・マラヴィツァ神父 SDB

貧しく機会に恵まれない少年たちに“再びのチャンス”を



サレジオ会は「若者のために何かしてほしい」というピオ・タオフィヌウ枢機卿の要請に応え、1981年にサモアに came ました。1989年にはドン・ポスコ技術訓練センターが開設されました。貧しく機会に恵まれない少年たちに職業訓練を提供することで、“再びのチャンス”を差し出すことを目的としています。

25年たった今も、私たちは約180名の少年たちのために働いています。少年たちは4年間の課程を履修し、最初は全般的な職業訓練を受け、その後、5つの専門課程の一つを学ぶ機会を与えられます：自動車工学、溶接・金属製作、大工・建具、配管・板金、電気のそれぞれの分野です。生徒たちの多くは主流の学校システムでうまくやって行けなかった経験を持ち、人生で成功体験を味わった者は少数です。そこで、さまざまなスポーツや文化的活動をもって実習室や教室でのプログラムを補っています。この生徒たちはサモアで最も優れた大人数のダンス集団の一つと認められ、エンターテインメントを添えるため、国

の特別なイベントによく招かれます。私たちのファウタジ（長い手漕ぎ舟）・チームはサモアで最も強いチームの一つで、最近、アメリカン・サモア・フラッグ・デーの式典でサモア代表を務めました。私たちは、職業訓練と職業教育、霊的養成、スポーツの機会と文化活動を合わせて活かし、豊かな教育と、幸せで前向きな将来への道を生徒たちに提供しています。

サモアは深い宗教性のある、ほとんどの人がキリスト教徒の国です。キリスト教信仰は強く、サモアの文化のなくてはならない側面になっています。日々の祈りは文化の一部となっています。私たちは文化のこの側面を活かし、祈り、典礼、信仰の養成を学校生活の日常の流れに統合するようにしています。生徒たちは教室で宗教教育を受け、毎日の集会で祈りをリードし、数々の黙想会や静修の日に参加します。祝日は、大きな喜びと熱意をもって祝われます。こういったことは、生徒たちに職業の世界に入る備えを提供する職業訓練と職業教育を補完し、深みを与えています。私たちの総合的プログラムのこれらさまざまな側面は、良いキリスト者、積極的な市民となるための知識、技能、生きる姿勢を成長させる機会を生徒たちに提供しています。

挑戦となっているのは、イエス・キリストへの信仰を深め、キリストとの出会いから来る喜びを発見する機会を少年たちに差し出すことです。それは毎日の祈りや典礼だけでなく、日常生活の中で、助けを必要とする人々への奉仕を通して信仰を行動に移すことのうちにも見いだされる機会です。このようにして、一人ひとりが、キリスト者共同体の中であって自分の信仰を生き、祝うことができるよう私たちは助けています。



オーストラリア出身、サモアの宣教師 **クリス・フォード**神父



サレジオの宣教の聖性のあかし

サレジオ会列聖申請人 **ピエル・ルイジ・カメローニ**神父

私たちはエクアドルの宣教師、神の僕 **カルロ・クレスピ**神父（1891-1982）を思い出します。クレスピ神父は、小さな人々に近づき、貧しい人々を優先的に愛することにおいて、罪びとのために心を砕くことのうちに、自分を顧みず、行いの単純素朴さのうちに表れる深い謙遜を常に生きることのうちにキリストに倣いました。1929年の手紙に次のように書いています：「尊敬するリカルド・ネ神父様、私は仕事、犠牲、すべてを受けとめる心の用意があります：しかし、主は毎日、ご自分の愛の深いやさしさを示してください、犠牲へと私を導かれます。主に応えることができれば、そして主の栄光のためにいつも働くことができればと願っています。」



サレジオ会の宣教の意向

オセアニア（オーストラリア、ニュージーランド、サモア、フィジー、パプアニューギニア、ソロモン諸島）のサレジオ会共同体のために。共同体で共にロザリオを祈ることによって、すべての事業において、若者、信徒協働者のあいだに、福音の喜びがもたらされますように。

オーストラリア、そして全オセアニアは、キリスト者の助け聖マリアの母としてのご加護にゆだねられた、世界で最初の国々に含まれます。キリスト者の助け聖マリアの祝日が典礼上初めて祝われてから200年目にあたり（1816-2016）、私たちはサレジオ会共同体とサレジオ会事業において、特に若者たちと信徒協働者の家庭、サレジオ家族において、ロザリオの祈りを再活性化させます。2016年サレジオ宣教の日は、オセアニアでまだ福音を知らない人々にイエス・キリストを初めて告げ知らせる宣教に力を入れるよう、私たちを招いています。そのために、オセアニアのすべてのサレジオ会員が、宣教のロザリオを手に取りますように！

